

市民リポーター
佐々木徳恵さん

ささき とくえ
富岸町在住。登別市出身。会社員。登別美術協会会員。コンサドーレ札幌サポーターズクラブ『道NIMO苫蘭』事務局長。



キツキのぬいぐるみや模型で見学者の笑いを誘うふおれすと鉾山のスタッフ

体感しませんが素晴らしい自然

ふおれすと鉾山がお手伝い

今年の4月、鉾山町に
ネイチャーセンター『ふおれすと鉾山』が
オープンしておよそ半年が過ぎました。

山や川、森、滝など、鉾山地区の
豊かな自然を活用し
『人と自然のふれあい活動拠点』として
造られたこの施設がどのように
利用されているかリポートしました。



上田 融さん

オーダーメイドの
自然体験メニュー
『ふおれすと鉾山』の大きな特
徴は、スタッフがそれぞれ植物や
野生動物などの専門知識をもち、
利用する方の年齢や目的に合わせ
て、自然体験のプログラムやメニ

ューをつくってくださることです。
「どんな体験をしたいのか、あ
らかじめ利用する方のリクエスト
を聞きます」と話すのは、ふおれ
すと鉾山のスタッフ上田融さん。
上田さんは「例えば小学校の授業
で利用する場合、何をねらいとし
ているのか学校と綿密に打ち合わ
せ、そして細部にわたって準備し
ます。興味をそそるような仕掛け
づくりをして、まず遊びにのめり
こんでもらう。そして遊びの中で
子どもたちがねらいどおりに学べ
て、体験が一つのドラマになるよ
うに」と演出にこだわっています。
体験メニューで好評なのが上田
さんが「目からうろこキャンプ」

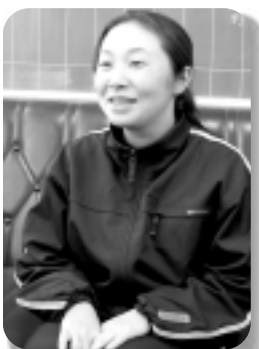


市民リポートは、市民のみな
さんが自由に発想・企画する
ページです。

と名づけた幌別川魚道の夜間観察。
「昼間はなかなか見ることのでき
ない魚が、懐中電灯で照らすと、
暗闇の中に無防備な姿でこんなに
見えていいのになって思うくらい
見えるんです。子どもたちは目を
輝かせて大喜びです。満足感を感
じる瞬間ですね」とにつこり。

一人ひとり体で感じた 自然からのインパクト

オープンから10月末までに、約
1万2千人がふおれすと鉾山を利
用しました。そのうち宿泊者は約
3千800人。



徳武 正江さん

青葉小学校の5年生36人も7月
に宿泊体験学習を体験しました。
「青葉小学校周辺も自然が豊富